

## 下松市指定有形文化財

### 「妙見宮鷲頭寺の棟札」について

山口県文書館副館長 吉積久年

下松市には、国指定文化財2件、県指定文化財3件、市指定文化財10件の計15件があり、この度び、これから陳べるものをお加え計16件になった。国の登録文化財はまだない。

下松市にとって、有形文化財の市指定は昭和61年以来、およそ四半世紀ぶりのことになる。この新たな市指定有形文化財（歴史資料）「妙見宮鷲頭寺棟札」三枚について、聊か関わりを持ち、下松地方史研究会講演会で話させていただいた者として、簡単にまとめさせてもらうこととする。

棟札とは、建造物の由緒を伝えるものとして、建造物の脇役を果たすものである。したがつて、文化財的評価が大分遅れてなされた。例えば、下松市の重要文化財「閼伽井坊塔婆（多宝塔）」そのものは、すでに明治期、指定文化財となつたものの、棟札五枚（いすれも近世修理のもの）は昭和54年になつて附指定をうけたのである。

山口県での棟札への関心は、昭和53年度県教育委員会による、山口県近世社寺建築緊急調査でたかまつたと考へてよい。

古建築の附指定ではなく、純粹に棟札だけを指定文化財の対象として、紙の記録史料同様の価値を認めるとともに、歴史資料という新たな種別が法的にも認められたことも重なって、文化財指定されるようになつた。

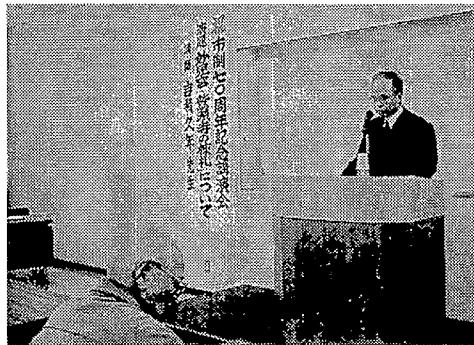
別表の一覧は、県下の指定有形文化財となつてゐる棟札をまとめたもので、一六〇〇年以前の古棟札のみを抽出した。最も早い指定が、昭和55年、右調査直後のことである。ただ指定は昭和62年で止まつたと言つてよい。棟札への関心もやや一過性であつたとも言える。すると今回の下松市の棟札指定は、県下でも久々のことになるわけで希少である。

なお、右近世社建築緊急調査に携わつた者としては、県下には多数の古い、しかも板面にびっしり墨書きされた棟札が遺存しているという実感を強く持つてゐる。しかも、中世に溯源するものが少なからずあるといふことも忘れてはならない。柳井市の重道八幡宮の如きは、弘安3年（一二八〇）鎌倉時代にまで溯る棟札があるのである。

さて、妙見宮鷲頭寺の棟札三枚は、永祿4年（一五六一）、同12年（一五六九）、享保2年（一七一七）のもので、大きさは縦49cm余り、横11cm余りで、比較的小さい。厚さは1cm前後、享保2年のものを除き杉材である。なお、永祿4年と享保2年の棟札は、神輿3基（丁）の建造に関わるもので、その点に留意すべきである。永祿期のものは、市内では中世唯一の最古のものであり、一覧表でもわかる通り県内でも比較的古いものと言ひ得る。

無論、妙見宮鷲頭寺の歴史を考える上では貴重な史料である。また、毛利家の家紋入りの納

箱に納められ保存状態もよいが、最古の永禄4年の棟札は墨痕がやや薄れ氣味であることが聊か気になる。古文献で補えるものの肉眼ではもう全文を把握することはむつかしい。赤外線カメラによる撮影作業をしておくべきと考える。



講演風景

### 山口県下の棟札の有形文化財（歴史資料）指定一覧

指定年	市町村名	所有者	枚数	棟札年号（1600年以前のもののみ）
昭和55	錦町 (現岩国市)	宇佐八幡宮	5	天文12(1543)、同22(1553)
56	岩国市	白崎八幡宮	1	文亀3(1503)
※ 57	日置町 (現長門市)	日置八幡宮	4	応永2(1395)、永正6(1509) 同10(1513)、天正9(1581)
60	柳井市	重道八幡宮	7	弘安3(1280)、暦応3(1340) 寛正5(1464)、長享2(1488)
〃	豊田町 (現下関市)	日幡神社	4	嘉吉元(1441)、長享2(1488) 永正12(1515)、永禄3(1560)
62	光市	冠天満宮	6	天文18(1549)
〃	柳井市	大帶姫八幡宮	10	応永31(1424)、文亀3(1503) 元亀2(1571)、天正3(1575)
〃	豊田町 (現下関市)	巖島神社	1	文安5(1448)
平成21	下松市	妙見宮鷲頭寺	3	永禄4(1561)、同12(1569)

※(注)※は県指定有形文化財(古文書)他は市町村指定有形文化財(歴史資料)

享保 2 年

永祿 12 年

永祿 4 年

# 妙見宮鷲頭寺の棟札

故神興二番看水操年中前那元公鑑慶元公所製造也年華後  
久治氣傾此長是體平慶郡之舊根素時施房銅製母新大觀那  
奉再造防州都濃那鷲頭妙見山御神廟三基 工師 赤井幸助  
從四位下行侍従防長大守兼尾郡大龍吉元公武運延長而家門  
華下至萬福信極等承願固請釋迦佛祀禪神威勝殊矣 別當 鷲頭寺法印一篆謹白

大總那毛利陸奥守從四位上行大江朝元元就井 大江原元為武運長久國家安全折所  
孔奉造立妙見山鷲頭寺上宮御社燈一宇 御遷宮導師 宮司 標小僧都  
參後中坊常質宮坊並就實滿功事秀  
實滿功有善實滿功并依實泉坊宗獻  
本總二年正月十五日太末守源氏  
社舉行大庭加漢守平政家作滿行弘中後人道々治  
本總二年正月十五日太末守源氏  
白

雙持大總那從五位下行右馬頭大江元就朝臣并  
備中守大江朝元元武運長久國家安全故也  
云奉新造防州都濃那鷲頭妙見山御神廟三宇  
宮守坊有善 宮司坊源義 參造奉行弘中丹後人道々治  
實滿功有善 宮司坊源義 参造飛驒守盛直  
金物貢後源兵衛秀勝  
邊將長源兵衛秀勝